

登米市議会 (30年9月定期議会)

すとうこうき報告



政治信条

子どもと家族を守る！
生活と環境を護る！
笑顔輝く登米市民を衛る！

発行/須藤 幸喜 住所/登米市登米町小島大野前84番地5 TEL・FAX/0220-52-4351

市民の意見を 市政に生かしてまいります！

平成30年9月定期議会は9月7日から10月3日まで開催されました。今回の一般質問は、小中学校へのエアコン設置、職員給与のラスパイルズ指数そして、職員の時間外縮減に伴う方策の進捗状況についての質問を行いました。
議案審議は、27の審議が行われ、そのうち26議案は可決となりましたが、「登米市パークゴルフ場・レクリエーション施設条例」については、前代未聞の議員全員による反対で**否決**となりました。
今後も熊谷市政をさらに直視し、良いところは伸ばし、疑問や改善点を議論の中で改めてまいります。
このほかに平成29年度の一般会計、特別会計6会計、公営企業3会計における、歳出総額721億4147万円をすべて認定しました。

すとうこうきプロフィール

《主な経歴》

昭和36年7月5日 登米町に生まれる (57歳)
昭和55年3月 宮城県米谷工業高等学校卒業
平成18年4月 登米市立登米中学校PTA会長
平成18年4月 登米市PTA連合会会長
平成25年7月 登米市職員組合執行委員長
平成28年9月 登米市職員退職
平成29年4月 登米市議会議員初当選

《現職》

市議会総務企画常任委員会委員
市議会議会改革推進会議委員
市議会広報広聴委員会委員
福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会委員

すとうこうき一般質問・答弁

○小中学校へのエアコン設置について

問 例年にも増して猛暑が続き、摂氏30度を軽く超える気温の中、児童生徒及び教師は教室の中で授業を行っている。他県では熱中症が原因とし死亡事故がある。学校は我慢比べの場所なのか。学校環境を整え、学力向上を目指す待ったなしの施策と考えるが。

問 小学校22校、中学校10校の普通教室254には、1台も設置されていない。他の自治体の取り組みを参考にするとのことだが、他の自治体の動向は関係ない。子どもらを守る、命を守る、そのことを最善の策ととらえられないか。

問 検討の中には、統合問題、校舎自体の老朽化の問題、さらには、夏休みの延長等々課題は多いとは思われるが、勉強における過程の中で、家庭学習に頼ることのない、学校での学習を充実させることが大事と考える。環境を整える、待ったなしの重要な政策だ！

答 学校施設は、児童生徒の学習・生活の場である。冷房設備は、保健室及びコンピューター室に完備しているものの、普通教室の暑さ対策は扇風機や水分補給により行ってきた。熱中症予防や学習効果向上を図るためには、冷房設備が必要である。

問 エアコン工事費は約7億円と試算している。学校現場からも、今年は大変苦しかった状況も聞いている。学校は生活の場、学習の場であることから、安全に過ごせることが第一義であるので、現状の改善に向けて出来るだけ早く検討を進める。

問 宮城県市長会においても一番の話題とされた事案である。急がないといけないだろうというのが市長たち共通の思いであった。内閣官房長官からも3分の1の補助の話はあったものの、その財源がどのような状態で交付されるのかなど全く見えてこない。しかしながら、財源等を調整し、急ぎたいと思う。

○職員給与のラスパイルズ指数について

問 本市職員のラスパイルズ指数は92.8%である。類似の自治体の平均が98.3%であり、全国平均が99.1%であることから、この状況を市長はどう受け止めているか。さらに、職員の意欲向上や優秀な人材獲得に影響すると考えられるが、どのような改善策を講じて行くのか。

問 平成29年度、他の自治体との比較では、県内市部13市の平均が95.2%であり、本市は11位と下から3番目の状態となっている。全国類似団体平均が96.4%であることから、給与水準は低いと認識している。給与水準の引き上げは必要と考えている。

※ラスパイルズ指数とは？

国家公務員との比較で、地方公務員の水準を表す指数であり、その算出方法は、地方自治体の一般行政職の学歴別・経験年数別構成などが国と同一であると仮定して平均給与月額を求め、国の平均月額を100として指数化しているものである。

○職員の時間外縮減に伴う方策の進捗状況について

問 昨年の9月議会一般質問において、職員の時間外労働の縮減について、他自治体の取組事例を参考に質問を行い、「パソコンが自動でシャットダウンするだけでなく、画面上に縮減の方法の表示等の対応も考えている、研究させてほしい」旨の回答を得ているが、その後の研究結果は。

答 A 現行のシステムで時間外勤務の縮減への意識啓発や時間外勤務事前命令の徹底についてパソコン画面表示が可能なかを検討してきた。

これまでも接遇向上に向けた意識づけでの実績があり、直接的な意識啓発に効果が見込まれる画面表示も有効と考える。今後は、現在利用している行政システムのカスタマイズも視野に入れ、新たな縮減策について研究を続ける。

すとうこうき決算審査質問・答弁

防犯推進活動費

13節
15節

委託料
工事請負費

防犯カメラ機器保守業務
通学路防犯灯設置工事

598,860円
1,422,360円

防犯カメラ6基
専用柱5基、添架1基

問 防犯カメラは佐沼地区4台、登米地区2台に設置されているが、計6台で安全安心なまちづくりは図られていると思うか、抑止になったと言えるか。

答 6台ですべて賄えるとは思っていない。

他自治体での地域防犯に対する補助金の取組等を参考に今後検討をする。

問 防犯灯を41基新設したが、まだまだ不十分である。市内をくまなく調査し手厚く設置し特に小中学校生の安全を重視するべきである。

答 当初要望のあった箇所の整備は完了をしているが教育委員会と連携を取り、整備して行きたい。

清掃関係費

事業概要から

問 市民のごみ減量及び資源分別意識の向上を図ったとあるが、効果及び比率はどうであったか。

答 25.1%で4分の1程度は資源に回収しているものの昨年度を0.1%上回った程度である。リサイクル率の向上に頑張っており参りたい。

森林病虫害等防除費

13節
19節

委託料
補助金

松くい虫被害等総合対策業務他
森林病虫害等防除事業補助金他

10,444,140円
6,963,000円

問 毎年1,700万円も費やし、松くい虫防除を行ってきた。その歴史は30年もの長きに繰り返し繰り返し行ってきたが、景観を重んずる場所や、市において残さなければならない松林を決め対処すべきと考えるが。

答 市単独では効果がなく、全県的あるいは県境も含め、今後取り組んで行かなければならない。

しかし今後は、選考伐倒の考えから健全な松を価値あるうちに切り、広葉樹に転換して行かなければならないと考える

住宅管理費

事業概要及び成果から

問 老朽化した政策空き家の解体撤去を進め・・・としているが、すべての建物をいつまでに解体するのか。また、老朽化した建物に現在住んでいる方々には、他の新しい住宅に移る政策を取る必要がある。

答 市営住宅は885戸あり、政策空き家としての位置づけは77戸である。迫、登米、東和が特に多い。年度ごとに5～6棟ほどを解体しているが、状況により、年度を前倒しするなどの対応を行う。

河川維持費

8節

報償費

樋門・樋管27施設管理謝金

2,092,200円

問 樋門・樋管の管理を行っている方の謝金に不公平感がある。見直しを行い、均等化を図るべきではないか。

答 県から管理委託を受けているものもあり、県との調整を含め、検討する。

給食センター管理運営費

地場産物利用状況に占める地場産物活用割合から

問 本市の給食提供における残食量と比率は。

答 9万7,140kgあり、残食率は平均で10.11%である。

問 関連ですが、29年度における油麩の使用料は。

答 480kgで、献立には年間87回提供している。

問 給食の栄養計算で、加工食品の算出基礎となついる「日本標準食品成分表」には、油麩が掲載されていない。海外に向けても是非発信をしていただきたい。

答 文科省の科学技術学術審議会にも日常的な食品データとして提供しております。

登米市のソールフードとして考えて行きたい。

30年6月議会一般質問の結果、労働者のための融資制度が開始されました

- 融資制度の名前は「登米市勤労者融資制度」です。
- この制度は、自治体と労働金庫が提携して、労働者の生活向上に向け、低金利の利率を定め支援する制度です。
- 融資には、教育資金、福祉資金、自動車資金、生活資金があります。
例として、教育資金は、融資金額 最高300万円、融資期間 最長10年、融資金額 年1.55%（一部利子補給制度あり）
- 利用者は、登米市に居住するする方等の利用者制限があります。
- 担保や保証料は不要ですが、詳しくは東北労働金庫迫支店にお問い合わせください。(0220-22-6511)

市政への思いをお寄せください (TEL / FAX 0220-52-4351)